

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
部 長	南谷 かおり
外来副看護師長	新垣 智子
保健師	張 鈺豊
国際医療コーディネーター	木村 ガーリー
国際医療コーディネーター	石井 葉子
国際医療コーディネーター	難波 幸子
国際医療コーディネーター	リュウ キン フォーン
事務員	廣中 司
協力医師 (膠原病内科部長 兼リウマチセンター長)	入交 重雄
協力医師 (総合内科・感染症内科医長)	三島 伸介

—概要—

国際診療科は、その前身となる国際外来(2006年4月開設)の機能強化を目的として2012年11月にスタートし、医療通訳サービスの提供、院内資料の翻訳、受診に関する問い合わせ対応など、外国人が安心して医療を受けられるような様々な支援業務を行っている(診療は行っていない)。

業務の中核となる医療通訳サービスは、当院を受診する外国人患者さんに対し英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語の4言語で受付から検査、診察、会計まで付き添い通訳を行うもので、無料で利用できる(提供日時は言語により異なる)。開始以来通訳件数は毎年増加しており、利用者は泉州地域在住の外国人が大半を占めるが、関西国際空港の対岸という立地に加えて近年の訪日観光客の増加に伴い、外国人旅行者の割合が増えつつある。

医療通訳を担当するのは当院に登録している有償ボランティア通訳者である(2015年度末時点で約80名)。経験や語学力に応じて「医療通訳」「メディエーター」「認定外国人サポーター」の3つの区分を設け、新規登録者はまず認定外国人サポーターとして活動し、経験豊富な医療通訳の指導のもと、現場研修(OJT)を通じて医療通訳のいろはを学んでいくシステムとなっている。日本では医療通訳の整備は端緒についたばかりであり、このようなOJT型の取り組みを行っている機関は全国的にも数少ない。今後ますます需要が高まると思われるこの分野において、当院は「現場に根差した」医療通訳者養成という重要な役割を担っていると見える。同時に、多言語を話す医療者のフォローアップのもと、「常駐型」の医療通訳サービスを提供していることも当院の特色の一つである。

他の特筆すべき取り組みとしては、2013年度から協力医

師の入交医師による退役米国軍人健診を実施しており、国内における数少ない実施機関の一つである。また、職員を対象に月1回ネイティブ講師による医療英会話講座を開き、スタッフの語学力育成にも力を入れている。

なお、外国人患者受入れ体制に関する客観的評価として、当院は外国人患者受入れ医療機関認証制度「JMIP」(バージョン1.1)の認証を有している他、厚生労働省による「医療機関における外国人患者受入れ環境整備事業」の拠点病院にも選定されている。

国際診療科を中心とした当院のこれらの取組や実績は広く知られるところとなり、他の医療機関からの相談や見学依頼も多い。地域の国際医療の拠点として、また日本の医療通訳制度の推進者として、一層の貢献をしていきたい。

—実績—

(1) 2015年度国籍別通訳件数

国籍別通訳件数	
中国	272
フィリピン	265
ペルー	210
ブラジル	167
アメリカ合衆国	81
バングラディシュ	73
コロンビア	41
ボリビア	19
スイス	18
オーストラリア	16
タイ	16
フランス	14
イギリス	11
台湾	11
ロシア	11
インドネシア	7
ニュージーランド	7
韓国	7
ミャンマー	6
エジプト	5
スリランカ	4
スペイン	3
パラグアイ	3
ルーマニア	3
カナダ	2
スウェーデン	2
ドイツ	2
ベトナム	2
ラオス	2
イタリア	1
インド	1
シンガポール	1
デンマーク	1
ネパール	1
日本	65
不明・その他	52
計	1,402

(2) 2015年度言語別通訳件数

言語別通訳件数	
英語	510
ポルトガル語	153
スペイン語	288
中国語	282
タガログ語	142
その他	27
合計	1,402

(3) 2015年度内容別通訳件数

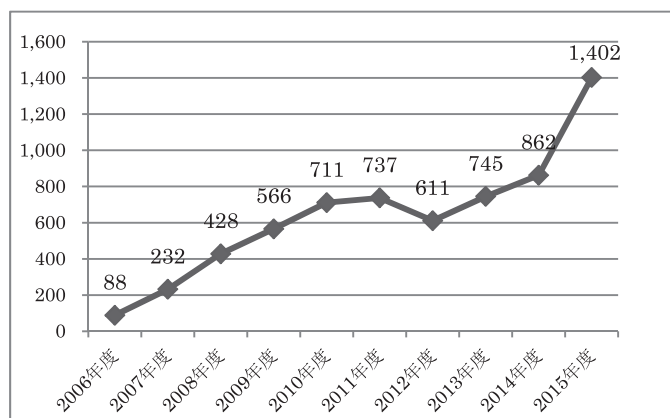
内容別通訳件数	
診察	851
会計	702
診断書等	105
説明・相談	386
薬	312
受付・予約	212
検査	446
翻訳	10
処置・手術	84
その他	217
合計	3,325

※「その他」には電話対応の件数も含まれる。

(4) 2015年度診療科別通訳件数

診療科目別通訳件数	
内科	191
循環器内科	8
呼吸器内科	20
消化器内科	59
腎臓内科	38
血液内科	32
内分泌内科	4
糖尿内科	16
産婦人科	341
耳鼻咽喉科	118
小児科	100
泌尿器科	87
整形外科	71
救命救急センター	64
脳神経外科	55
救急外来	52
外科	48
形成外科	39
心臓血管外科	10
皮膚科	7
眼科	7
国際外来	2
女性外来	1
その他	85
合計	1,455

(5) 年度別通訳件数の推移



—今年度の成果と反省点—

今年度は外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)の更新年度であり、各部署の協力を得て認証を更新することができた。さらに、今年度から始まった大阪大学主催の「医療通訳養成コース」に共催として参画し、21名の研修生に対し現場研修を実施、好評を得た。本コースは厚生労働省が策定した「医療通訳育成カリキュラム基準」に基づき、一年をかけて医療知識や通訳技術・倫理等を習得する本格的な養成講座である。現場研修参加者の約半数がその後当院のボランティア通訳に登録を希望したことから、医療通訳者としての素地を備えた人材を集めることができ、受入れ側にとっても非常に有意義な取り組みであった。

また、今年度は通訳件数が飛躍的に伸び、4言語合計で前年比約60%増の1,402件であった。とくに英語、中国語の対応件数の伸びが顕著であったが、急増の背景としては中・長期間の入院患者さんが多かったことと、外国人旅行者の受診数増加が挙げられる。夜間早朝等の時間外に旅行者が受診することも多いため、時間外の通訳対応について遠隔通訳サービスの導入を検討中である。

—来年度への抱負—

懸案事項となっている時間外の通訳対応に関し、遠隔通訳サービスの導入を関係部署と協力して実現したい。その第一段階として、4月から試験的に遠隔通訳のトライアルを実施する予定である。同時に、英語、中国語の患者数が増加していることから、通訳サービス提供曜日の拡充を検討していく。